

高調波検出継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	M-2C75	定 格 電 圧	— V cont.	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	5 A cont.	動 作 表 示 器	
準 拠 規 格	J E C - 1 7 4	整 定 範 囲	I : ~ A T : ~ s	素 子 型 式	M H H - 7 5
制 御 電 圧	D C V			製 造 番 号	
第7調波以上検出用				器 具 番 号	

試 験 項 目 ・ 試 験 結 果 温度 _____ °C 湿度 _____ %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	外 観 ・ 構 造 ・ 表 示 事 項 及 び 塗 装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回 路 一 括 ・ 外 箱 間 : 1 0 M Ω 以 上 (規 格 値)	
耐 電 圧 試 験	回 路 一 括 ・ 外 箱 間 : 2 . 0 k V 6 0 H z 1 分 間	
特 性 試 験	(注) 下 記 項 目 の 試 験 を 実 施 す る 。	

1. 制御電源開閉
制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

2. 動作値 (試験周波数: Hz)

整 定	A	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A	A
判 定 基 準	各 整 定 値 の ± 1 0 % 以 内					

3. 動作時間 (試験周波数: Hz)
[I 整定: 最小, 入力: 0 → 整定の200%]

T 整 定	最 小	最 大	判 定 基 準
	s	s	
動 作 時 間	s	s	最 大 整 定 値 の ± 1 0 % 以 内

4. 復帰時間 (試験周波数: Hz)
[I 整定: 最小, T 整定: 最大, 入力: 整定の200% → 0]

復 帰 時 間	判 定 基 準
ms	3 0 0 m s 以 内

5. 周波数特性 [I 整定: 最小] (右端の () 内は試験周波数を示す。)

イ) 整定値の40倍の基本波を印加して動作しないこと。 (Hz)

ロ) 整定値の18倍の第3調波を印加して動作しないこと。 (Hz)

ハ) 第8調波を印加した時の最小動作値は、整定値の0.7~0.9倍の範囲となること
(Hz)

承 認	作 成